

令和5年度 第1回 学校法人木村学園 大阪電子専門学校
電子工学科 学校関係者評価委員会

【日 時】 令和5年8月1日（火） 10:00～11:00

【場 所】 大阪電子専門学校 3階コワーキングスペース

【出席者】

（学校関係者評価委員：敬称略 順不同）

大音	和豊	株式会社モノプラス（委員長）
吉田	剛	株式会社ベルチャイルド（Zoomでの参加）
佐々木	啓	久米電気株式会社
小森	望充	国立大学法人九州工業大学（Zoomでの参加）
井本	直正	株式会社デナリパム
西尾	義典	元清風中学・高等学校教員

（弊学園教職員：学校関係者評価委員には含まない）

木村	誠	学校長
上田	良和	教育改善ユニット・電気設備科班長
浅野	勇介	電子工学科主任・電気工学科1年担任
辻	千奈津	電子工学科2年担任
中本	智	情報エンジニア科班長・就職担当

【議案】

1. 令和4年度自己評価報告書の報告と質疑応答
2. 令和5年度電子工学科学生アンケートについて

【議事録】

1. 令和4年度自己評価報告書の報告と質疑応答

令和4年度の自己評価報告書について以下の報告がなされた。

（1）評価項目の修正

- ・評価の1～4の数字およびその根拠を加筆修正した旨の報告

（2）評価項目の評価方法の明確化

- ・数値に根拠を持たせるために、評価項目内に達成事項を記載している。

- ・達成事項の内容に対する達成数に応じた評価とする。

(3) 評価項目の評価方法について意見

- ・達成事項取り組んだ内容について、その成果の内容を得点にしないのかとの意見があった。
 - ⇒ 実施したという事実だけで良いのか、それとも内容が重要なのか。
 - ⇒ 本評価では、実施したかという事実のみで考えている。システム的な判断となるが、フィードバックして次年度の改善に盛り込むのであれば、PDCAサイクルも回るため大丈夫と考えている。
- ・JABEEと同じで、客観的に評価できるエビデンスの提出を求められているのか。
 - ⇒ 例：教育理念を学生に周知した場合、どこでどのような方法で周知したというエビデンスが必要であるため。
- ・学科ごとに分ければその学科に即した評価が作成できるのではないか。
- ・成果に対して課題を付与できれば、より良いものになるのではないか。

2. 令和5年度電子工学科学学生アンケートについて

令和5年度の学生アンケート案についての報告がなされた。

(1) 学生アンケート案の報告

- ・アンケートの内容について報告された。その中で、学科（学校）としてAI×ロボットに力を入れていくことを考えているため、学生からどのような授業を受けてみたいかという意見を吸い上げる内容とした。

(2) 委員からの要望

- ・ロボット、AI以外の分野についてはないのか。
 - ⇒ 教育理念として、AI×ロボットを掲げており、また人を形成するというのが基本としてあるため、まずはその点について意見収集を行う。
- ・就職支援についてという項目を付け加えて頂きたい
 - ⇒ 学生から見た学校の就職支援は十分であったかそうでないか。大きな枠組みの中の項目の1つとして、20番あたりにあっても良いのではないか。